

## 平成 26 年度事業報告

### 1. 学術集会, 講演会等の開催 (定款第 4 条第 1 号)

#### (1) 年 会

第 87 回 日本薬理学会年会 『復興と創造』 平成 26 年 3 月 19 日～21 日, 東北大学川内萩ホール, 仙台国際センター  
年会長: 谷内 一彦 (東北大学・院・医) 参加者 2,310 名 演題数 850 題  
(学術評議員 545 名, 一般会員 409 名, 大学院生 261 名, 非会員 217 名, 学部学生 171 名,  
名誉会員・永年会員 22 名, 招待演者・共催セミナー関係者・招待者 685 名)  
特別講演 9, 受賞講演 7 (江橋節郎賞, 学術奨励賞 3, 西宮機能系基礎医学研究助成基金受賞者記念講演 3),  
シンポジウム 183, 一般演題 647 (優秀発表賞対象演題 97, 一般口演 168, ポスター 382)

#### (2) 地方部会

第 125 回 日本薬理学会近畿部会 会 長: 西堀 正洋 (岡山大学・院・医)  
平成 26 年 6 月 20 日, 岡山コンベンションセンター (岡山市)  
参加者 232 名, シンポジウム 2, 一般演題 64, ポスター 11

第 130 回 日本薬理学会関東部会 会 長: 鈴木 勉 (星薬科大学・薬)  
平成 26 年 7 月 5 日, 星薬科大学百年記念館 (東京都品川区)  
参加者 353 名, シンポジウム 7, 一般演題 53, ポスター 26

第 65 回 日本薬理学会北部会 会 長: 木村 純子 (福島県立医科大学・医)  
平成 26 年 9 月 26, 27 日, コラッセふくしま (福島市)  
参加者 134 名, 一般演題 62

第 131 回 日本薬理学会関東部会 会 長: 五嶋 良郎 (横浜市立大学・医)  
平成 26 年 10 月 11 日, 横浜市立大学福浦キャンパス (神奈川県横浜市)  
参加者約 200 名, 一般演題 59

第 126 回 日本薬理学会近畿部会 会 長: 岸岡 史郎 (和歌山県立医科大学・医)  
平成 26 年 10 月 24 日, 和歌山県 JA ビル (和歌山市)  
参加者 279 名, 一般演題 68

第 67 回 日本薬理学会西南部会 会 長: 柳原 延章 (産業医科大学・医)  
平成 26 年 11 月 23 日, 産業医科大学ラマツィーニホール (福岡県北九州市)  
参加者 182 名, 一般演題 62, ポスター 16

#### (3) セミナー等の開催 (年会会期分を除く)

- ・新薬理学セミナー 2014 平成 26 年 7 月 5 日, 星薬科大学 (東京都品川区)  
『薬物依存研究における最前線-NIDA/NIH からのメッセージ』 世話人: 鈴木 勉 (星薬科大学・薬)
- ・新薬理学セミナー 2014 平成 26 年 10 月 24 日, 和歌山県 JA ビル (和歌山市)  
『アンドロゲンおよびレチノイド応答の発生薬理: 教育, 研究におけるミュータントマウスの応用』  
世話人: 岸岡 史郎 (和歌山県立医科大学・医)
- ・公開講座 (第 87 回年会) 平成 26 年 3 月 22 日, 仙台国際センター (宮城県仙台市)  
『震災によるこころの病の克服を目指して』 責任者: 谷内 一彦 (東北大学・院・医), 参加者: 約 100 名
- ・公開講座 (近畿部会) 平成 26 年 6 月 22 日, 岡山大学 J-ホール (岡山市)  
『体のしくみと薬の作り方』 責任者: 西堀 正洋 (岡山大学・院・医), 参加者: 220 名
- ・公開講座 (北部会) 平成 26 年 9 月 27 日, コラッセふくしま (福島市)  
『漢方医学からみた健康法』 責任者: 木村 純子 (福島県立医科大学・医), 参加者: 92 名

#### (4) 他学会等との共催学術集会の開催

- ・日本臨床薬理学会との合同シンポジウムの開催  
第 87 回 日本薬理学会年会時 平成 26 年 3 月 19 日, 東北大学川内萩ホール (宮城県仙台市)  
『血管内皮・平滑筋細胞からみた循環器疾患の治療前線』 オガナイザー: 柳澤 輝行 (東北大学・院・医)  
植田真一郎 (琉球大学・院・医)
- 第 35 回 日本臨床薬理学会年会時 平成 26 年 12 月 4 日, ひめぎんホール (愛媛県松山市)  
『創薬応用を目指すチャンネル・トランスポーター研究最前線』 オガナイザー: 安西 尚彦 (獨協医科大学・医)  
岩本 隆宏 (福岡大学・医)
- ・日本毒性学会との合同シンポジウムの開催  
第 87 回 日本薬理学会年会時 平成 26 年 3 月 20 日, 東北大学川内萩ホール (宮城県仙台市)  
『iPS 細胞研究の現状と医薬品開発への応用』 オガナイザー: 上野 光一 (千葉大学・院・薬)  
千葉 修一 (中外製薬(株)安全性研究部)

(5) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- WorldPharma2014 (平成 26 年 7 月 13～18 日：南ア共和国/ケープタウン開催) で井上 和秀教授, 貝淵 弘三教授, 金井 好克教授の 3 名のプレナリーレクチャーと, 他 2 件の日本薬理学会推薦のシンポジウムが行われた。日本から約 70 名が参加した。
- WCP2014 に先行して 7 月 13 日にケープタウンで開催された IUPHAR Educational Section の総会選挙で宮田 篤郎教授が同セッションの Councilor に選出された。
- NC-IUPHAR 委員会に免疫薬理学部門が新設され, 石井 優教授 (大阪大学) を推薦し, 承認された。

2. 学会誌等刊行物の刊行 (定款第 4 条第 2 号)

(1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号 (部数) 124 巻 1～3 号 (各 1,100 部), 124 巻 4 号 (950 部), 125 巻 1 号 (950 部),  
125 巻 2～4 号 (各 900 部), 126 巻 1～4 号 (各 900 部)  
124 巻 Supplement (the 87th Annual Meeting) (3,500 部)

	掲載頁数	(篇数)
① Review	290 頁	( 32)
② Full Paper	963 頁	(101)
③ Short Communication	62 頁	( 14)
④ Index, Announcement, Erratum, etc.	110 頁	
小計	1,425 頁	(147)
⑤ Vol.124 Supplement I	288 頁	
合計	1,713 頁	(147)

(2) 日本薬理学雑誌 (くすりとかからだ/ファーマコロジカ) の刊行

発行巻号 (部数) 143 巻 1～3 号 (各 4,250 部), 143 巻 4 号 (3,400 部),  
143 巻 5 号～6 号 (各 3,700 部), 144 巻 1 号 (3,800 部)  
144 巻 2 号 (3,850 部), 144 巻 3 号 (3,900 部), 144 巻 4 号 (3,950 部)  
144 巻 5 号 (4,050 部), 144 巻 6 号 (4,150 部)

	掲載頁数	(篇数)
① 特集序文	13 頁	(12)
② 特集および総説	342 頁	(65)
③ 実験技術	24 頁	( 4)
④ 創薬シリーズ	43 頁	( 7)
⑤ 新薬紹介総説	89 頁	(10)
⑥ キーワード解説	25 頁	(11)
⑦ 最近の話題	14 頁	(13)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	12 頁	(12)
⑨ 学会便り/研究室訪問	8 頁	( 8)
⑩ アゴラ	24 頁	(12)
⑪ ブルー頁	6 頁	
⑫ 広告	188 頁	
⑬ 綴込み, 目次等上記以外の頁	164 頁	
合計	952 頁	(154)

(3) 会員名簿の発行

所属別会員名簿 1 冊

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）

(1) 第7回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

金井 好克（大阪大学大学院医学系研究科 生体システム薬理・教授）

第8回日本薬理学会江橋節郎賞決定

貝淵 弘三（名古屋大学大学院医学系研究科 神経情報薬理・教授）

(2) 第29回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

吾郷由紀夫（大阪大学大学院薬学研究科薬物治療学分野）

『セロトニン<sub>1A</sub>受容体による中枢神経機能制御に関する薬理学的研究』

大久保洋平（東京大学大学院医学系研究科細胞分子薬理学教室）

『代謝型グルタミン酸受容体シグナリングの可視化解析』

宝田 剛志（金沢大学医薬保健研究域薬学系薬物学研究室）

『関節組織における転写因子カスケードの役割と創薬応用』

第30回日本薬理学会学術奨励賞決定（裏表紙）

(3) 第19回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定（掲載順）

Association Between Genetic Polymorphisms of the  $\beta_1$ -Adrenergic Receptor and Sensitivity to Pain and Fentanyl in Patients Undergoing Painful Cosmetic Surgery

Ayako Moriyama, Daisuke Nishizawa, Shinya Kasai, Junko Hasegawa,  
Ken-ichi Fukuda, Makoto Nagashima, Ryoji Katoh, and Kazutaka Ikeda  
Vol. 121, No. 1, pp. 48 - 57 (2013)

Volume Transmission of Substance P in Striatum Induced by Intraplantar Formalin Injection Attenuates Nociceptive Responses via Activation of the Neurokinin 1 Receptor

Yoki Nakamura, Hiroki Izumi, Takumi Shimizu, Kazue Hisaoka-Nakashima, Norimitsu Morioka,  
and Yoshihiro Nakata  
Vol. 121, No. 4, pp. 257 - 271 (2013)

Significance of the Vascular Concentration of Angiotensin II-Receptor Blockers on the Mechanism of Lowering Blood Pressure in Spontaneously Hypertensive Rats

Shinji Takai, Denan Jin, Hiroshi Sakonjo, Takayuki Takubo, and Toyofumi Nakanishi  
Vol. 123, No. 4, pp. 371 - 379 (2013)

(4) 第87回年会優秀発表賞（演題番号順・20名）

宝田 美佳（金沢大院・医・神経分子標的）

今村菜津子（東京大・薬・薬品作用）

池上めぐみ（星薬科大・薬・薬物治療）

田辺 章悟（大阪大院・医・分子神経科学）

川畑伊知郎（東北大・薬・薬物療法）

舟山 健太（東京大・薬・薬品作用）

白鳥 美穂（九州大・薬・薬理）

宗 可奈子（京都大院・薬・生体機能解析）

西谷 直也（京都大院・薬・生体機能解析）

中屋 亮彦（秋田大・医・情報制御学実験治療学）

石澤 有紀（徳島大・ヘルスバイオサイエンス研・薬理）

西原 弘朗（九州大院・薬・薬効安全性）

山村 彩（金城学院大・薬・薬理）

加藤 靖浩（慶應義塾大・医・薬理）

田中健一郎（慶應義塾大・薬・分析科学）

中村 高志（神戸大・バイオケミカル研究センター・分子薬理）

宮本 理人（徳島大・薬・生理科学解析薬理）

西村 周泰（京都大・iPS研・臨床応用）

樋口 聖（京都大・医・病院臨床研究総合センター）

Printip Wongthai（大阪大院・医・生体システム薬理）

#### 4. 薬理学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

##### (1) 会員動態の調査

第85回、第86回、第87回と3回の年会等における年齢・性別のアンケート調査結果を会員管理システムに取り込んだ。本アンケートによる会員動態の調査は、今後も継続する。

##### (2) 薬理学関連のデータベースを構築する NC-IUPHAR の会議に出席した会員の提案を受けて Guide to Pharmacology のデータベースと学会ホームページをリンクした。第88回年会にデータベースキュレーターの Dr. Adam Pawson を招へいし本データベースの講習会をランチョンセミナーとして行う。

#### 5. 内外の関連学術団体との連携及び協力（定款第4条第5号）

##### (1) 学術集会の共催および連携 上記1.の(4)、(5)を参照

##### (2) 学術集会の協賛・後援（平成26年年会から平成27年年会前まで）

#### 協 賛

1) 第21回 HAB 研究機構学術年会	平成26年5月16,17日
2) 第41回日本毒性学会学術年会	7月2~4日
3) 第18回活性アミンに関するワークショップ	8月23日
4) 電気化学会関東支部 第50回学際領域セミナー	9月19日
5) フォーラム2014: 衛生薬学・環境トキシコロジー	9月19,20日
6) CBI (情報計算化学生物) 学会2014年大会	10月28~30日
7) 第24回日本循環薬理学会	12月5日
8) 第20回ペプチドフォーラム	平成27年3月13日

#### 後 援

1) 第9回日本分子イメージング学会総会・学術集会	平成26年5月22,23日
2) 第3回国際硫化水素学会	6月4~6日
3) 日本ケミカルバイオロジー学会第9回年会	6月11~13日
4) 国際カルノシン・アンセリン学会2014	8月5~7日
5) 第19回日本病態プロテアーゼ学会学術集会	8月8,9日
6) 第57回「脳の医学・生物学研究会」	8月16日
7) 生体機能と創薬シンポジウム2014	8月28,29日
8) Tokyo Translational Therapeutics Meeting: Homeodynamics in Clocks, Sleep and Metabolism	9月24日
9) 創薬薬理フォーラム第22回シンポジウム	9月25,26日
10) 第8回日本緩和医療薬学会年会	10月3~5日
11) 第24回日本臨床精神神経薬理学会 第44回日本神経精神薬理学会 合同年会	11月20~22日
12) 第7回トランスポーター研究会九州部会	11月22日
13) 第7回排尿障害モデル動物研究会	12月5日
14) 第16回応用薬理シンポジウム	12月5,6日
15) 第9回分子イメージング研究センターシンポジウム	12月17日
16) 被災地支援活動「ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト2014」	平成26年度
17) 第58回「脳の医学・生物学研究会」	平成27年1月10日
18) 第44回日本心臓血管作動物質学会	2月6,7日
19) 第6回日本安全性薬理研究会 学術年会	2月20,21日
20) 第24回神経行動薬理若手研究者の集い	3月17日

6. 会議等の開催状況（平成26年年会から平成27年年会前まで）

総 会	平成26年度通常総会	平成26年3月19日	(仙台)
学術評議員会	平成26年度	平成26年3月19日	(仙台)
理 事 会	平成26年度 第3回	平成26年3月20日	(仙台)
	第4回	4月26日	(東京)
	第5回	7月26日	(東京)
	第6回	12月13日	(東京)
	平成27年度第1回	平成27年2月13日	(書面決議)
	第2回	3月17日	(名古屋)
常務理事会&ワーキング	平成26年度第2回	平成26年6月7日	(東京)
WCP2018 組織委員会	平成26年度 第1回	平成26年8月14日	(東京)
総務委員会	平成26年度 第1回	平成26年6月30日	(東京)
	第2回 持ち回り開催	11月5日	(東京)
財務委員会 予算案検討ワーキング	平成26年度 第1回	平成26年11月13日	(東京)
	持ち回り開催	11月12日	(東京)
	会 計 監 査	平成27年1月13日	(東京)
		1月22日, 27日	(東京)
	監 事 監 査	平成27年2月10日	(東京)
編集委員会	平成26年 第1回	平成26年3月20日	(仙台)
	第2回	5月31日	(東京)
	第3回	7月25日	(東京)
研究推進委員会	持ち回り開催		
広報委員会	平成26年 第1回	平成26年3月19日	(仙台)
	第2回	7月12日	(京都)
企画教育委員会	平成27年度 第1回	平成27年1月10日	(東京)
賞等選考委員会	平成26年度 第1回 持ち回り開催	平成26年10月25日	(東京)
年会学術企画委員会	平成26年度第1回 持ち回り開催	平成26年8月23日	(東京)
江橋賞選考委員会	平成26年度 第1回	平成26年11月7日	(東京)
利益相反(COI)委員会	平成26年度 第1回	平成26年6月30日	(東京)
	第2回	11月5日	(東京)

7. 会員状況（平成26年12月31日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代議員 (正会員に含む)	名誉会員	永年会員	正会員		総数
			学術評議員	一般会員	
139	108	83	1,349	3,184	4,724
±0	+5	+7	-34	-156	-178

新入会者数：416名，退会者数：594名（逝去者，会費未納除籍者含む）

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。